

「クリエイターの話 ～私のイメージの源泉」

スペースデザイン部会員 にし の ふ さ こ
西野 芙佐子

『透き通った水』

戦中都会で生まれた私が子供のころ美しいと感じた色の記憶はたった二つ、焼け跡で拾った小さなタイルの白と水色でした。

高校2年の夏、友人との初旅で訪れた尾瀬で草原に咲くキスゲやあやめ、しぶきをあげながら落ちる白い滝、濡れて光る崖の豊富な色とその大きさに圧倒されましたが、せせらぎや池の水を通してきらきら光っていた石ころや水草にくぎ付けになってしまったことを今でもはっきり思い出します。

40年ほど経って織りと出会った時作品のテーマは迷わず「水」でした。

川の流れ、海の色、せせらぎ、水滴、泡……

織っても織っても次のテーマが浮かんでいきます。



「ひとすじ」 2010年

流れる滝のしぶきに光が当たって
ひとすじに見えたり塊になったりするさまを表しました。



「満ち潮」 2017年

赤道に近いサンゴ礁が満ち潮で潤い
形を変える様子を織ってみた作品



【変容】 2021年

形成された年代によって色が変わる崖に見える地層は
くねりながらまた姿を変えていく、
時の流れを表現したくなり織り上げました。

西野 芙佐子 プロフィール

Nishino Fusako

◆経歴

- 1939年 東京で生まれる
- 1999年～ 織を知り東京テキスタイル研究所で習得する
- 2003年～ 年1,2回グループ展に参加
- 2005年 新制作展 初入選
- 2017年 新制作展 新作家賞受賞
- 2021年 新制作展 新作家賞受賞
- 2022年 会員推挙

○SD 通信 Vol. 68 『クリエイターの話 ～私のイメージの源泉』西野 芙佐子 編は如何でしたか。

「織り」を通じて様々な色・形を表現されている西野さんですが、各作品に通底しているテーマやイメージの原型・原風景を知る機会になりました。私自身も創作につながる記憶や経験についてあらためて振り返ってみたいくなりました。皆さんの感想も是非お聞かせください。

◆西野 芙佐子さんの情報は新制作協会ホームページにも掲載されています。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/25503>

◆SD 通信のこれまでのバックナンバーは協会ホームページに掲載されています。

過去に配信したシリーズ「私を創ってくれた3つの作品」のバックナンバー (Vol.1～35) もご覧いただけます。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/26661>

◆スペースデザイン部では間もなく「受賞作家展」を開催いたします。

第88回新制作展・スペースデザイン部で受賞された4名の力作が並びます。是非ご高覧ください。

展覧会の詳細はこちらから

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/34192>

◆88回展の会場の様子が見れる <バーチャルパノラマツアー> 下記のアドレスからアクセスください。

→ <https://r93840544.theta360.biz/t/e3b09dbc-9430-11f0-b697-060182f6995f-1>

◆昨年2月に開催された『87th 新制作展 スペースデザイン部受賞作家展』の記録はこちらでご覧いただけます。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/31285>